八木山動物公園

YAGIYAMA ZOOLOGICAL PARK

フジサキの杜 NEWS

2026 WINTER Vol.56



特集

休園日のおしごと －整備・修繕編－

TOPICS!

教えて！飼育員さん！

イベント情報

仙台市八木山動物公園 情報誌

休園日には何をしているの？

休園日のおしごと

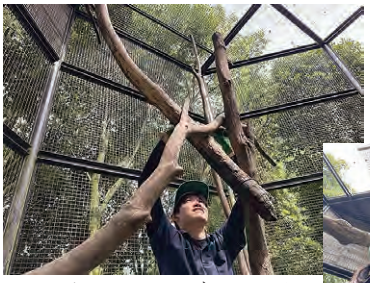
― 整備・修繕編 ―

八木山動物公園は、毎週水曜日が休園日となっています。この「休園日」に、特別な作業を行っているのをご存じでしょうか？今回は、動物園の施設に関する整備や修繕の様子をご紹介いたします！

展示場の整備

普段、動物たちが過ごしている展示場では、動物たちが安全で快適に過ごせるよう、また、良好な展示環境を維持できるよう、休園日には飼育員がさまざまな工夫を凝らしながら整備や補修を行っています。

アビシニアコロブス展示場の木の交換



アビシニアコロブス展示場の木を交換する飼育員

Before



展示場内の動物たちが利用する登り木は、劣化すると折れたり崩れたりする恐れがあります。そのため、年に一度、飼育員が総出で、園内作業で発生した剪定木などを使い、組木の交換作業を行っています。

After



組み直した木でくつろぐアビシニアコロブスたち

カバのプール清掃

カバの展示場のプールの水を抜いて清掃を行います。水をきれいに保つことはもちろん、排水設備に異常がないかを確認したり、普段は水があって近づけない場所の点検や補修を行ったりする大切な機会にもなっています。



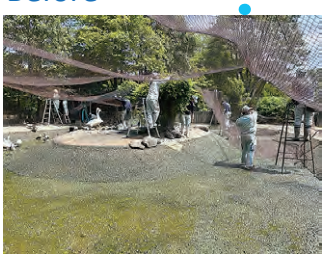


清掃前のカバのプールと清掃を行う飼育員

水禽池のネット撤去

高病原性鳥インフルエンザ対策として、冬季の間に展示場周辺へ設置していた防鳥ネットを、春になると撤去します。広い範囲に張られたネットを取り外す作業は大仕事になるため、多くの職員が協力しながら進めます。

Before



水禽池のネットを撤去する職員たち

After



ネット撤去後の水禽池の様子

アビシニアコロブスの展示場を整備するにあたり気を付けていることはありますか？

できるだけ人工物を使わずに自然な景観を再現するよう心がけています。そのうえで、活発に動いたり、さまざまな行動を見せたりできるよう、展示場の環境づくりを工夫しています。



施設の修繕

施設の整備や修繕は、職員が自分たちで行うこともあります。しかし、中には専門的な技術が必要な作業や、大規模な設備の修繕など、職員だけでは対応が難しいものもあります。そのため、必要に応じて専門業者に作業を依頼しています。来園者の皆さまへの影響をできるだけ少なくするため、こうした作業は休園日に行うことが多くあります。

ふれあい館の電気設備改修

新しい高圧洗浄機に対応するため、電気設備の増設工事を行っている様子です。停電を伴う作業のため、休園日に実施しています。





ふれあい館の電気設備を改修する業者の方

チンパンジー舎の扉修繕

チンパンジー展示場と寝室をつなぐ扉は、老朽化により閉まりが悪くなっていたため、専門業者による修繕を行い、安全に開閉できるようになりました。



チンパンジー舎の扉を修繕する業者の方

レッサーパンダ展示場の修繕

Before



アクリル板を設置しなおす業者の方

After



修繕後の展示場の様子

レッサーパンダ展示場を仕切るアクリル板は、経年劣化により傷みが見られるようになったため、専門業者により新しいものへ交換しました。

園内整備・修繕

動物の飼育施設だけでなく、園路や植栽など、園内全体の整備や修繕も担当職員が行っています。

園内花壇の柵の修繕

Before



After



園内の花壇の木柵のビフォーアフター

園内の植栽の手入れ・剪定



園内の植栽を手入れする業者の方

園内の景観を維持するための花壇や植栽の手入れ、簡単な修繕などは職員が行っています。しかし、高枝の剪定など、安全管理や専門技術が必要な作業については、専門業者に協力をお願いしています。

園内の修繕作業で大変なこと、気を付けていることはありますか？

動物たちや来園者の皆さまに影響が出ないよう作業を進めるのは大変ですが、飼育班と連携しながら安全第一で取り組んでいます。



ただいま工事中
― 総合獣舎 ―

【形になる前の時間】

建物の土台となる基礎づくりが着実に進んでいます。基礎部分は、地面の下や見えにくい部分での作業が中心となるため、見た目の変化はわずかです。何もないように見える空間こそ、建物を支える重要な部分なのです。



〈上の写真〉
地盤改良（柱状改良）後の様子。
地盤改良機を用いて、地中で土とセメントミルクを混ぜ合わせた柱状の改良体を何本も作り、地盤を強固にしています。



〈右の写真〉
地盤改良（柱状改良）中の航空写真。
写真左側と写真奥に見えるのが地盤改良機。

会えないけれど、元気です！（は虫類編）

は虫類館が閉館してから２年。館内で飼育されていた動物たちの一部は他園へ移動しましたが、現在も多くの個体が園内にある裏飼施設で大切に飼育されています。普段はご覧いただくことができませんが、元気にしている動物たちの暮らしをご紹介します。今回ご紹介はメガネカイマンです。



以前は最大5頭のメガネカイマンを飼育していました。掃除や給餌はもちろん、特に苦労したのが温度管理です。施設の老朽化により、季節や天候による気温の変化に細やかに対応する必要がありました。

現在の飼育室には室内プールと床暖房を備えており、プールには温水を入れられるため、寒い季節でも快適な環境を維持できます。飼育室はコンクリートに囲まれた構造のため、天気の良い暖かな日には屋外で日光浴をさせるなど、健康管理に努めています。





週に1回、エサとしてアジなどを与えています。エサの時間になると、普段は穏やかに見えるメガネカイマンの表情が一変します。勢いよく水中から飛び出してくる姿は迫力満点で、今にも飛びかかってきそうなほどです。プールに投げ入れたアジを大きくロを開けてくわえ、アウアウとそのまま頭から丸のみする様子を見ると、普段は静かに見えるメガネカイマンも、野生の本能を備えたワニの仲間であることを実感させられます。

現在、メガネカイマンは展示を休止しておりますが、新しい獣舎で皆さまにご覧いただける日を目指し、大切に飼育を続けています。それまでの間は、SNS等で近況を発信しますので、お楽しみに！

TOPICS! トピックス



すくすく成長中！ トカラヤギ

7月１３日に「ツムギ(メス)」と「ウララ(メス)」が誕生しました！
時々、お母さんの「アリス」から離れて元気に走ったり、牧草を食べたりする姿も見られるようになり日々成長を感じます。まだまだ、「アリス」について歩くことが多いですが、少しずつふれあいにも参加していきますので、これからも2頭の成長をぜひ見守ってください！



過ごしやすい環境へ レッサーパンダ

レッサーパンダの「クルミ(メス)」は15歳になり、高い木に登ることが難しくなったため、平坦な放飼場へお引っ越ししました。新しい放飼場で「クルミ」はあちこちを元気に探索し、東屋の下でのんびりお昼寝する姿も見られます。最近は穴掘りに夢中で、飼育員が「寝室に戻っておいで」と呼んでも、なかなか戻ってこないこともあります。新しい環境を満喫しているようです。



ワオ団子 ワオキツネザル

気温が下がると、展示場に出たワオキツネザルがひとかたまりになることがあります。名付けて「ワオ団子」。代謝が低く体温調整が苦手な動物であるため、みんなで体を寄せ合うことでお互いを温め合っています。
暖房が効いている寝室内でも団子になっていることがあるので、防寒のためだけでなく、くっついていることで落ち着く効果もあるのかもしれませんね。



ブーツが履けるよ アフリカゾウ

アフリカゾウの飼育では、足の健康を維持することが重要です。
「リリー(メス)」は、将来足の治療が必要になった際に、特注のブーツを履いて薬浴ができるよう、ブーツを履く練習を行っています。はじめは慣れない様子でしたが、約1か月の練習を重ね、しっかりとブーツが履けるようになりました。こうしたトレーニングは、万が一の治療に備える大切な取り組みです。



寒さに備えて食欲アップ！ インドクジャク

いつもエサを持って行くと扉の前をうろちょろしながらこちらをじっと見つめているインドクジャク。特に、ミルワーム、ドッグフード、サツマイモが大好きで、真っ先に突いて食べている姿がよく見られます。換羽期が終わり羽は抜け落ちましたが、これから寒くなる冬に向けてたくさん栄養を蓄えて、また来年、目玉模様の綺麗な飾り羽を広げた姿を見せてほしいです。



冬でも快適に過ごせます アミメキリン

アミメキリンは、年間を通して温暖なアフリカのサバンナ地帯に生息しており、寒さが苦手です。キリン舎には床下暖房機が設置され、冬でも室温約20℃を保っています。今年は秋の長雨による低温が続いたため、体温低下を防ぐ目的で例年より早く暖房を稼働しました。日没が早まるにつれ、冬隣の気配を感じながら、今年も八木山の冬を無事に越してほしいと願っています。

みんなの「なぜ？」にこたえます

教えて！飼育員さん！

皆さんは、動物園に遊びに来た時に
「なぜ？」「どうして？」と思ったことはありませんか？
「教えて！飼育員さん！」は、来園者の皆さんからの
疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。
今回の質問はこちら。

ペンネーム：　豊彦　さん　からの質問
インコとかカラフルな鳥は野生の中で
生き残れるのですか？

ご質問、ありがとうございます。

ふれあい館ではミドリコンゴウインコやセキセイインコを展示しています。園内にはほかにもたくさんの種類の鳥がいますが、鮮やかな色彩をもつ鳥も多く見られますよね。今回は、そんなカラフルな鳥たちがなぜ野生で生き残れるのかについてお話しします。

まずお伝えしたいのは、「カラフルであること」と「目立つこと」は必ずしも同じではないということです。

ミドリコンゴウインコは鮮やかな赤や緑の羽根をもっていますが、彼らが暮らしているのは南アメリカのアマゾンの広大なジャングルです。一年を通して緑豊かな森の中では、緑色の羽根は周囲の植物に溶け込み、目立ちにくくなります。また、赤い羽根も果実や花の色に紛れるため、自然の中では保護色



として働くことがあります。

次に、カラフルな羽根は繁殖にも有利だと考えられています。動物が子孫を残すためには、異性にアピールしてパートナーとして選んでもらう必要があります。アピールの方法はさまざまで、巣の出来栄えを見せたり、オス同士が力比べをしたりする種もいます。カラフルな鳥の場合は、羽根の鮮やかさが重要なアピールポイントとなります。鮮やかな色彩は健康状態や強さの表れだと考えられており、より鮮やかな羽根をもつ個体ほど、「健康で良いパートナーである」というアピールにつながるのです。

最後に、鳥の中には群れで暮らす種類がたくさんいます。カラフルな色や模様は、同じ種類の仲間とほかの種類の鳥を見分ける目印の一つになっていると考えられています。そのため仲間を見つけやすく、群れを作りやすくなります。多くの仲間と一緒に行動することで、天敵を早く発見できるため、生き残るうえで有利になるのです。



八木山動物公園
YAGIYAMA ZOOLOGICAL PARK
フジサキの杜

NEWS vol.56

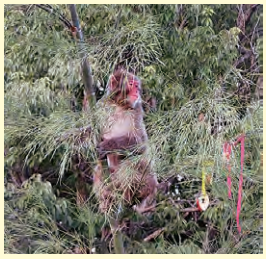
表紙の解説

イノシシ放飼場の整備を行っている様子です。イノシシは頑丈な鼻先で土を掘る習性があるため、放飼場の地面は凸凹になってしまいます。さらに、雨などによって土が流されることもあるため、職員が定期的に土を補充し、地面をならして環境を整えています。



イベント情報

【2026年８月】
1日、8日、15日、29日　動物のおはなし
3日　親子体験教室
7日　サル山に七夕飾りをプレゼントしよう
　　教員向けセミナー
14日　ホッキョクグマに氷をプレゼント
17日　シロクマキャンペーン
20～22日　ナイトズージアム（夜間開園）


サル山に七夕飾りを
プレゼントしよう


ナイトズージアム

【2026年９月】
5日、12日、26日　動物のおはなし
19日　国際レッサーパンダデー
22日　世界サイの日
23日　動物感謝祭
27日　アフリカゾウ“メアリー60記念”

【2026年10月】
3日、10日、17日、31日　動物のおはなし
3日、4日　フジサキデー
11日　開園記念日
24日　国際テナガザルデー
25日　発見！対州馬のひみつ

【2026年11月】
1日　みやぎ計量のひろば
3日　八木山フェスタ、マダガスカルデー
7日、14日、21日、28日　動物のおはなし
20日　ホッキョクグマ双子の誕生会
22日　ホッキョクグマ双子のお別れ会

【2026年12月】
5日　サポーターイベント
6日、13日、20日、27日　うらがわ探検隊
25日　サル山で焚火をしよう

【2027年１月】
2日、3日　正月開園
10日、17日、24日、31日　うらがわ探検隊
30日　世界シマウマの日

当園の公式Xで
動物の情報を
発信中！

最新の情報は
当園公式HPを
ご覧ください

オフィシャルサポーターご紹介！

法人等の団体サポーター

１口１万円以上の現金を寄附していただけると「オフィシャルサポーター」になれます。
10口以上寄附のオフィシャルサポーターになると、園内の動物説明板に団体の名称等を掲示することができます。
※動物説明板への団体名称掲示には応募要件がございます。

○**団体サポーター 一覧**　※令和８年11月1日現在［敬称略］
有限会社六郷アズーリファーム（アミメキリン）
株式会社ホットハウス（ニホンザル）
株式会社北日本ウエスターン商事（アフリカゾウ）
株式会社SPU（フラミンゴ）
レアマグネット合同会社（ライオン）
千馬未来システム株式会社（スマトラトラ）
株式会社アイックス（オオタカ、ニホンイヌワシ）
グローテック株式会社（レッサーパンダ）
ぽらべあ動物病院（ホッキョクグマ）
仙台総合ペット＆フラワー専門学校（プレーリードッグ）
後藤電気管理事務所（ニホンツキノワグマ）
株式会社Deta（ホンドタヌキ）
田中裕介税理士事務所（カバ）
株式会社柴田建設工業（クロサイ）

個人サポーター随時募集中！

個人の方は１口1,000円から寄附をしていただくことができます。
５口以上の寄附で「ゴールドサポーター認定証」が発行され、１年間無料で入園できます。
ぜひ、個人のみなさまもサポーターとなって当園の動物たちを応援してください！
サポーター制度の詳細や申込方法については、当園ホームページをご参照ください。

八木山動物公園
サポーター制度

園　長　だ　よ　り

当園随一の人気者であるホッキョクグマの双子「うみ」「そら」は、今年の12月で２歳となります。600グラムほどで生まれた彼らは、いまや150キログラムを超えるほどの立派な体格に成長しました。じゃれあいの迫力は日に日に増し、母親の「ポーラ」と一緒に過ごす寝室は、かなり窮屈になってきていました。

ホッキョクグマは、おおむね２～３歳で独り立ちし、その後は繁殖期を除いて単独で過ごします。当園としても、母親やきょうだいと仲良く遊ぶ姿をこれからもずっと見守っていきたい気持ちはありますが、独り立ちの時期を過ぎても彼らが一緒に暮らすことは、闘争の回避、次世代の繁殖に向けた適切なペアの形成などの観点から、望ましいことではありません。このため、国内で生まれたホッキョクグマは２歳前後を目安に他の動物園・水族館に移動するのが通例となっており、このたび、当園の「うみ」「そら」も、旅立つことが決まりました。受入れ先の動物園はいずれもホッキョクグマの飼育経験が豊富ですので、我々同様に「うみ」「そら」に深い愛情を注いで、しっかりと育て上げてくれることでしょう。将来、彼らのいずれか、あるいはその子供たちが当園に帰ってくることを夢見て、新天地での成長を見守っていきたいと思います。

当園では、昨年から今年にかけて、人気者だった動物たちとのお別れが相次ぎました。寂しい思いをされている方もいらっしゃると思いますが、先ごろ、若いスマトラトラやフンボルトペンギンの群れなどの新しい仲間を迎えました。皆様へのお披露目は令和９年に入ってからとなりますが、ぜひ彼らにも会いに来てください。

令和８年11月　八木山動物公園フジサキの杜　園長　門馬　正樹

仙台駅から乗車12分。「八木山動物公園フジサキの杜」へのお出かけは、便利でスムーズな地下鉄で！

八木山動物公園フジサキの杜（総合案内 022-229-0631）INFORMATION

食堂メニューと売店商品のご案内






★グーグーテラス
ドライトマトと炭火焼チキンのピザ……¥1400
ホタテとほうれん草のクリームパスタ……¥980
デミグラスソースのオムライス……¥980
カフェモカ（ホット・アイス）……¥450



東門売店
当園オリジナルデザインの記念写真機や記念メダル等で来園の思い出を形にしてみてはいかがですか



オリジナルメラミンスプーン・フォーク……各¥350
ホッキョクグマをデザインしたカトラリーが出来上がりました。



その他おすすめ
フロストアクリルキーホルダー……¥770
園内の人気者たちがかわいいイラストのキーホルダーになって登場♪種類は４種類。

※価格が変更になる場合がございます

※価格はすべて税込です

八木山動物公園フジサキの杜 NEWS

vol.56 2026 WINTER

編集／仙台市八木山動物公園
仙台市太白区八木山本町1丁目43　TEL022-229-0631　https://www.city.sendai.jp/zoo/
発行／（公財）仙台市公園緑地協会
仙台市宮城野区五輪1-3-35　TEL022-293-3583　http://www.sendai-park.or.jp/web/

発行日 令和８年11月

◎動物取扱業登録
●氏名／仙台市長　郡 和子　●事業所の名称／仙台市八木山動物公園
●事業所の所在地／仙台市太白区八木山本町1-43
●動物取扱業の種別／展示・販売・貸出
●登録番号／展示 1107、販売 101052、貸出 101053
●登録年月日／展示 平成19年3月12日、販売・貸出 平成29年3月17日
●登録有効期間末日／展示 令和9年3月11日、販売・貸出 令和9年3月16日
●動物取扱責任者／吉住 和規